

地域特産品の開発と販路開拓について

1 現状と課題

地域特産品は、観光のみならず地域振興にとって重要な要素であり、農産物や農産物加工品を中心に、県農業改良普及センターと県試験研究機関が連携をとり、地域と協力して地域特産品目の開発と商品化を進めている。

しかしながら、各町村では次のような地域課題を抱えている。

- ・地産地消を進めるうえで、農家や農産物等加工組合等と食品加工・販売業者や観光施設との連携が十分でなく、特産品の開発や販路開拓の体制が弱い。
- ・各自治体の地域特産品を、「南信州」地域の商品としてPRする体制や支援策が充分とはいえない。
- ・小規模な農家や組合・団体が多く、作付面積の不足や高齢化等から、需用に対する供給不足と活動の衰退が懸念される。

2 地域特産品の開発と支援について

現状では、「南信州」地域の特産品を振興するため、農業改良普及センターが中心となり、地域農業振興の一環として長期的・総合的な特産品開発や地域リーダーの育成を支援しているが、当該品目の商品化や新たな販路の開拓には、異業種間のコーディネートや「南信州」ブランディングの推進、地域事業者や企業の協力要請等、県、市町村の担当者や関係職員が部門を超えて取り組まなければ解決できない課題が多いため、特産品開発の進捗に応じて、3つの段階で提案する。

(1) 個別の農産物・加工品の特産品化

個々の地域で、農産物・加工品の特産品化の活動がある場合、(町村事務サポートチームの提案を踏まえ)町村への駐在・派遣を含めた農業改良普及センター職員が、現状でも行っているように、市町村職員と連携し、また、内容に応じて県の各種試験研究機関の協力を得て、地域特産品の開発や地域農業者のリーダーの育成を支援する。

(2) 行政による横断的な支援、異業種間の橋渡し

ある程度、特産品開発の目途が立ち、さらなるステップアップのために、行政の各種施策を組み合わせた横断的な支援が有効な場合や、原材料の調達や販路開拓など異業種間の協力が必要な場合に、市町村と県の各機関が協力して部局横断的な支援や、異業種間の橋渡しを行う体制を構築する必要がある。

具体的には、(町村事務サポートチームの提案を踏まえ)北部地区、西部地区、南部地区の実情に応じた「ふるさと振興局(又はふるさと総合支援窓口)」体制の構築に併せ、農政・林務・商工・観光・衛生・地域づくり等の各部門が連携し、各地区においてワンストップで相談に応じられる体制を整える。

(3) 「南信州」広域を対象とした窓口の設置

「南信州」を一区と捉え、多様なケースに対応したスムーズな関連部門・分野の連携と情報の共有化を図るには、広域的に特産品振興を行なうコーディネーターが必要となる。窓口を南信州広域連合または、県現地機関に設置し、課題に応じたプロジェクトチームの編成を市町村と県の各機関、民間企業、NPO等の参画を得て、逐次行う事ができるコーディネーターを配置する。

プロジェクトテーマ(例)
「南信州」特産品(特有野菜等)の認証制度確立 昼神温泉を広告塔・域内市場とした各市町村特産品のPRと販売 「南信州」の域内消費拡大 観光ツールとしての特産品開発

資 料

「南信州」の特産品開発の可能性

既存特産品の課題と見直し		
市田柿	(高品質化、菓子への利用、皮の利用、食品としての衛生管理)	
龍峡小梅	(梅漬けの高品質化とブランド化、価格低迷、加工技術と高付加価値化)	
茶	(高品質化、紅茶の生産拡大、高齢化と生産の維持、生産量の少なさ)	
「南信州」特産品の可能性		
< 農産物 >		
果実		
なし、りんご、もも、西洋ナシ		
柿、小梅(龍峡小梅)		
野菜		
果菜類：きゅうり、とまと、いちご等		
葉菜類：ハクサイ、キャベツ		
根菜類：大根、芋類、親田辛み大根		
山菜的野菜：たけのこ、ミョウガ		
花	(現 状)	(今後栽培が期待される品目)
切り花	カーネーション、デルフィニウム、ブルースター	エリシウム、ユリ
鉢 花	シラネ(長野県は全国1)、ポロニア	エリカ、クリスマスローズ
花木	ヒペリカム、クサグリ、山どり花木	シソ科加味入、実バラ
山野草	レモク、ミスヒキソウ	アケボノソウ、エビセンソウ
米(秋晴)		
< 農産加工品 >		
市田柿		
梅加工品		
茶		
コンニャク		
山菜加工品		
菓子(和菓子)		
つけもの		
ゆべし		
< 今後利用が期待される品目 >		
山菜及び加工品		
在来的地野菜 例) 親田辛み大根、ていざなす等		
雑穀及び加工品(健康食品・機能性食品として)		
あわ、きび、もろこし(高きび)、ヒエ、エゴマ、そば		
豆類及び加工品 例) 大豆、小豆、インゲン、その他雑豆類		
もち米(地元菓子業界と結びついた契約栽培)		
小果樹及び加工品 例) ブルーベリー、ホイチゴ、桑の実等及び加工品		
きのこ類		
山野草		
竹細工、木工芸品		

地域特産品の販売の現状（第3回観光活性化チーム会議において助言）

たかもり旬彩館

農事組合法人信州高森産直組合 組合長理事 安藤時夫氏

現在約130名の組合員。ほとんど農家。

H10年組合設立。H11年オープン。現在、年間約1億円の売上げ。

組合員の生産した物や加工品の販売及び食堂経営。

野菜、果物、穀物、花、種苗

ジュース、ジャム、ヨーグルト、和洋菓子、そばなど。

冬場の品揃えが課題。いちご組合加入で改善はしている。

「柿すだれ」見学ツアーを実施。中京・近畿から集客。

市田柿の菓子を作る菓子業者（組合員）の発案。

予想外の反響で、観光客が来て、柿も買ってくれた。

旅行会社への取扱い手数料が今後の課題。

智里東農事組合法人

理事長 島岡徹氏

昭和61年、昼神温泉内に7人のメンバーが朝市を出したのが始め。

現在31名常勤雇用。パート含め60数名。60・65・70歳で再雇用。

そば処「おんびら」、昼神温泉内などで物販など。

材料は、地元産。智里東 阿智村 下伊那（最大でも上伊那まで）

特産品づくりは、各プロセスで課題・難問がある。

原料仕入れ：エ胡麻など、作れば売れる物はたくさんある。

作付けしてくれる農家を見つけるのが大変。

農家から高く買いたい、集配のコストが問題。

ストックヤード：農産物の収穫は年1回しかない。ある時に原料を確保し、保管するためには、ストックヤードが不可欠。物販でも、加工品の割合を上げる必要あり。

許可：漬物・惣菜製造など加工は許可の固まり。

人材：加工のバラエティは膨大。幅広い知識と経験をもった人でないと、対応できない。

資金：ストックヤードの確保、保管期間などを計算にいれると相当な資金が必要。

販路：売れるという確信があるか。販路はあるか。

無理をしないで、売れたら徐々に販売量を増やす。

南信州地域における体験型観光と地域組織づくりの実践例

（第4回観光活性化チーム会議において講演）

飯田市下久堅地区柿野沢集落

宮内博司氏

標高500m、下久堅には7つの集落3450人900戸。区民センターが中心地。

当時3000円の積立金で道路を作ってきた。「道路委員会」が地域づくりの元となった。互助の精神で作ってきた。

生活改善グループの前身は、戦時中のまかないを地域で補い合っていたこと。

県外の人々が県を通じて体験に入るワーキングホリデー、体験などが増えている。

27回目になる世田谷区民祭りには、農産物の直送販売を行った。

ワーキングで入った夫婦が柿野沢で荒地を耕すため移り住む。5反歩を食品卸会社の

契約農園として投資をしてもらい就農する。技術の風が地域に吹くことになる。

中山間地域総合整備事業で交流センターを建てる予定。体験教育旅行の受け入れに対応するためと、地元の小中学生の育成に役立てる。

虎岩では阿島の傘紙を作ってきた。紙すきの「思い返し」をし、15人の紙すきがいる。

小学校の卒業証書は自分たちでトロロアオイ、ケナフを育成し作る。

郷土料理久堅御膳は、平成15年の県「味のコンクール」に出品。地方事務所、短大、市長の総勢38人で試食した。旅館の料理長に盛り付けを習うなどして、今も研修会やイベントに出

展して前進している。

1時間 500 円の取り決めで婦人が働いており、小遣いになる。無人販売も 2 ヶ所で年間売上 200 万円ほど。

昨年のはし柿の問題では、対応を検討し、地区役が各戸を回り改善指導を徹底し、そこに妥協を入れないように申し合わせた。

既存の農業では、収入が厳しくなっている。なし、りんごはキロ 100 円が実状。地域の特色を生かした農業に転換しなくてはならない。

農作業の委託を、高齢化した農家から共同で受けている。育苗と田植えが主。中山間地等直接支払い制度を 7 ヶ所で受けているが半分を共同作業に半分を積立にし、年間 250 万円で 1,000 万円の基金がある。土地、農地は先人からのもので、個人のものであるが地域のものである。

「どんぐりの森」を訪れる中学校のうち、何校かがいずれ定着してくれればそこから、長い交流が始まる。

行政の担当者が、多くの有識者を地域へ紹介し、地域のモチベーションを高めていった。地域はそれを各戸へ配布し合意形成に尽力した。すべて、ガラス張りが大切。

県試験研究機関等一覧

区分	試験場	住所
		電話番号 メールアドレス
商工関係試験場	情報処理試験場	松本市野溝西 1 - 7 - 7 0 2 6 3 - 2 5 - 0 7 9 0 info@nagano-it.go.jp
	工業試験場	長野市若里 1 - 1 8 - 1 0 2 6 - 2 2 6 - 2 8 1 2 iri-kikaku@icon.pref.nagano.jp
	精密工業試験場	岡谷市長地片間町 1 - 3 - 1 0 2 6 6 - 2 3 - 4 0 0 0 info@seimitsu-ri.pref.nagano.jp
	食品工業試験場	長野市大字栗田字西番場 2 0 5 - 1 0 2 6 - 2 2 7 - 3 1 3 1 sho@nagano-it.go.jp
	工業技術センター	飯田市上郷別府 3 3 3 8 - 8 0 2 6 5 - 5 2 - 1 6 3 0 kougiemc@iidanet.or.jp
農業関係試験場	農業総合試験場	須坂市大字小河原 4 9 2 0 2 6 - 2 4 6 - 2 4 1 1 nososhiken@pref.nagano.jp
	(機械施設部・バイオテクノロジー部)	長野市松代町大室 2 2 0 6 0 2 6 - 2 7 8 - 5 5 5 0 nososhi-m@pref.nagano.jp
	農事試験場	須坂市大字小河原 4 9 2 0 2 6 - 2 4 6 - 2 4 1 1 noishiken@pref.nagano.jp
	(作物部・育種部)	須坂市大字八重森下沖 6 1 0 0 2 6 - 2 4 6 - 9 7 8 3 noishi-y@pref.nagano.jp
	果樹試験場	須坂市大字小河原 4 9 2 0 2 6 - 2 4 6 - 2 4 1 1 kajushiken@pref.nagano.jp
	野菜花き試験場	長野市松代町大室 2 2 0 6 0 2 6 - 2 7 8 - 6 8 4 8 yasaikaki@pref.nagano.jp
	畜産試験場	塩尻市大字片丘 1 0 9 3 1 - 1 0 2 6 3 - 5 2 - 1 1 8 8 chikusanshiken@pref.nagano.jp
	中信農業試験場	塩尻市大字宗賀字床尾 1 0 6 6 - 1 0 2 6 3 - 5 2 - 1 1 4 8 chunoshiken@pref.nagano.jp
	南信農業試験場	下伊那郡高森町下市田 2 4 7 6 0 2 6 5 - 3 5 - 2 2 4 0 nannoshiken@pref.nagano.jp
	水産試験場	東筑摩郡明科町大字中川手 2 8 7 1 0 2 6 3 - 6 2 - 2 2 8 1 suisan@pref.nagano.jp
林業関係試験場	塩尻市大字片丘字狐久保 5 7 3 9 0 2 6 3 - 5 2 - 0 6 0 0 ringvosogo@pref.nagano.jp	